

1 選定の経緯

令和4年6月28日から令和4年8月19日まで東京都小笠原ビジターセンターの公募を実施し、また、令和4年7月5日から令和4年8月26日まで東京都立小峰公園外3施設の公募を実施し、各選定委員会による書類審査及び応募事業者ヒアリング等の審査を経て、指定管理者候補者を選定しました。

令和4年	6月28日	東京都小笠原ビジターセンターを公募
	7月5日	東京都立小峰公園外3施設を公募
	7月29日	公募説明会を実施（東京都小笠原ビジターセンター）
	8月4日	公募説明会を実施（東京都立小峰公園）
	8月5日	公募説明会を実施（東京都高尾ビジターセンター）
	8月8日	公募説明会を実施（東京都御岳ビジターセンター及び東京都御岳インフォメーションセンター）
	8月19日	応募者から東京都小笠原ビジターセンターに対する事業計画書等を受理
	8月26日	応募者から東京都立小峰公園外3施設に対する事業計画書等を受理
	9月28日	東京都立大神山公園及び東京都小笠原ビジターセンター指定管理者選定委員会及び環境局指定管理者選定委員会（第1次審査）の開催
10月6日	環境局指定管理者選定委員会（第2次審査）の開催	

2 選定委員会委員

(1) 環境局指定管理者選定委員会委員名簿

5名（外部委員4名、内部委員1名）

委員長	橋本 俊哉	立教大学教授
委員	鳥居 敏男	一般財団法人自然公園財団専務理事
	守泉 誠	公認会計士
	山本 清龍	東京大学大学院准教授
	上田 貴之	環境局環境政策担当部長

(2) 東京都立大神山公園及び東京都小笠原ビジターセンター指定管理者選定委員会委員名簿

5名（外部委員3名、内部委員2名）

委員長	橋本 俊哉	立教大学教授
委員	浦田 啓充	一般社団法人日本公園緑地協会常務理事
	守泉 誠	公認会計士
	上田 貴之	環境局環境政策担当部長
	細川 卓巳	建設局西部公園緑地事務所長

3 審査項目

(1) 環境局指定管理者選定委員会

	審査項目	配点
① 管理運営実績の程度	ア 公の施設又はこれに類する施設における良好な管理運営の実績を有すること。	5
② 業務に関する知識・経験の水準の程度	ア 自然公園の管理に関する知識を有していること。 イ 施設の維持及び修繕、施設等の使用の受付及び案内に関する業務経験を有している者を業務に従事させること。 ウ 適切な管理運営方針が示され、管理運営体制が整えられていること。 エ 施設補修等への対応方針が明確で、対応姿勢に積極性が見られること。 オ 従業員の接遇・能力等の向上への取組が示されていること。	15
③ 施設の効用の発揮と効率的な管理運営への取組	ア 事業経費について効率化が図られていること。 イ 事業経費のほか、業務の効率化に向けた取組が図られていること。 ウ 地域の人材や団体との連携等により、地域の振興に寄与する取組が図られていること。	35
④ 法令等を遵守した適切な管理運営に係る取組	ア 関係する法令及び条例の規定を遵守する取組が示されていること。 イ 施設の適切な維持管理に向けた取組が図られていること。 ウ 施設の安全管理及び快適性・清潔性を保つ取組が図られていること。 エ 環境に配慮した運営に向けた取組が図られていること。	15
⑤ 利用者サービスの向上に係る取組	ア 利用者のニーズを把握し、反映させる取組が図られていること。また、事業主体として社会的責任を果たしていく意思があること。 イ 障害者や子供・高齢者など多様な人々への利用促進が図られていること。 ウ 展示及び解説業務について工夫が図られていること。 エ 都民を環境学習及び環境保全に資する人材に育成するための取組が図られていること。 オ 施設を活用した自主事業等、質の高いサービスへの取組が図られていること。 カ 広報活動への取組が図られていること。	25
⑥ 災害時及び緊急時の体制整備に係る取組	ア 災害時及び緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制の整備への取組が図られていること。	5
		合計 100

(2) 東京都立大神山公園及び東京都小笠原ビジターセンター指定管理者選定委員会

審査項目	配点
○管理運営能力を有すること。	30
<ul style="list-style-type: none"> ・公園及び自然公園施設又はこれに類する施設における良好な業務実績を有しているか。 ・指定管理者の役割を十分に理解しているか。 ・公園及び自然公園施設の管理に関する知識を有しているか。 ・都の公園緑地行政等に関する長期計画等を十分に理解しているか。 ・事業主体として社会的責任を果たしていく意思があるか。 ・既存事業の経営基盤が安定しているか。 ・維持技術や業務能力の水準を向上させる上で必要となる、相応の体制を確保しているか。 	
○公園及び自然公園施設の魅力やサービスの向上が図られること。	70
<ul style="list-style-type: none"> ・公募対象施設にふさわしい管理運営となっており、かつ環境の変化、立地条件や利用者の特性にも着目しているか。 ・利用者に対して質の高いサービスを提供できるか。 ・ビジターセンターの展示及び解説業務について工夫が図られているか。 ・都民を環境学習及び環境保全に資する人材に育成するための取組が図られているか。 ・日常的な苦情要望等の把握と管理業務への反映が適切か。 ・都民協働や地域コミュニティとの連携に対する取組が適切か。 ・東京2020大会レガシーの継承に積極性は見られるか。 ・施設の広報活動への取組が図られているか。 ・地域の人材と団体との連携により、地域の振興に寄与する取組が図られているか。 ・自主事業が効果的で、収益還元が公園の魅力やサービスの向上につながっているか。 ・公園及びビジターセンターを適切に維持管理する能力を有しているか。 ・安全管理や危機管理について、的確な能力を有しているか。 ・施設補修等への対応方針は明確で、対応姿勢に積極性は見られるか。 ・小笠原諸島の自然環境を的確に認識しており、植生管理、適正利用等についての適切な能力を有しているか。 ・公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理に対する取組姿勢は見られるか。 	
○効率的な管理運営ができること。	30

4 公募施設の選定理由（議事要旨）及び得点状況

(1) 東京都立小峰公園

① 指定管理者候補者の名称
公益財団法人東京都公園協会

② 選定理由（議事要旨）

ア 質の高い、里山ならではのサービスの提供や、これまでの信頼関係に基づいて地域の組織・団体と円滑に連携できるノウハウを有するなど、安定した管理運営が期待できる。

イ 植生の特質を熟知した職員を配置し、里山ならではの生物多様性を意識した植生管理を実施するとともに、希少動植物の保全活動として、研究者やボランティア等と連携し、及び協働する取組が計画されている。

ウ 気象情報会社と連携した情報収集により、事前の備えとして、巡回等による注意喚起、危険枝除去等の実施が計画されている。

③ 候補者の得点状況

審査項目	配点	候補者の得点状況	
		候補者	2位
(1)管理運営実績の程度	25	25	23
(2)業務に関する知識・経験の水準の程度	75	61	59
(3)施設の効用の発揮と効率的な管理運営への取組	175	126	67
(4)法令等を遵守した適切な管理運営に係る取組	75	57	50
(5)利用者サービスの向上に係る取組	125	96	90
(6)災害時及び緊急時の体制整備に係る取組	25	20	17
合計	500	385	306

④ 申請団体一覧（※番号は申請書類受付順）

- 1 株式会社自然教育研究センター
- 2 公益財団法人東京都公園協会

(2) 東京都高尾ビジターセンター

① 指定管理者候補者の名称
株式会社自然教育研究センター

② 選定理由（議事要旨）

ア オンシーズンは多数の利用者がみられる特徴を持つ自然公園を管理運営するノウハウを有し、高尾山地域独自の情報を蓄積して関係者と信頼関係を築いていることで、それらを活かした安定した管理運営が期待できる。

イ 職員が毎日出勤時に歩道の状態を確認し、SNS等を通じて登山前の情報を発信するなどの取組が計画されている。

③ 候補者の得点状況

審査項目	配点	候補者の得点状況
(1)管理運営実績の程度	25	25
(2)業務に関する知識・経験の水準の程度	75	61
(3)施設の効用の発揮と効率的な管理運営への取組	175	74
(4)法令等を遵守した適切な管理運営に係る取組	75	60
(5)利用者サービスの向上に係る取組	125	84
(6)災害時及び緊急時の体制整備に係る取組	25	16
合計	500	320

④ 申請団体
株式会社自然教育研究センター

(3) 東京都御岳ビジターセンター

① 指定管理者候補者の名称
株式会社自然教育研究センター

② 選定理由（議事要旨）

ア 講の歴史が残る御岳をよく知る現地スタッフを採用するなど、ビジターセンターの立地の特徴を踏まえた管理が目指されている点が評価できる。

イ 現状の課題と問題抽出を的確に行い、それへの対応を今後5年間の取組に反映させている点が評価できる。

ウ 希少動植物に対する調査と保全活動を、地域関係者と協力して進められる体制を準備しており、その結果をSNS等で活用し若年層へのアプローチの強化を計画している。

③ 候補者の得点状況

審査項目	配点	候補者の得点状況
(1)管理運営実績の程度	25	25
(2)業務に関する知識・経験の水準の程度	75	65
(3)施設の効用の発揮と効率的な管理運営への取組	175	74
(4)法令等を遵守した適切な管理運営に係る取組	75	56
(5)利用者サービスの向上に係る取組	125	85
(6)災害時及び緊急時の体制整備に係る取組	25	17
合計	500	322

④ 申請団体

株式会社自然教育研究センター

(4) 東京都御岳インフォメーションセンター

① 指定管理者候補者の名称
一般社団法人青梅市観光協会

② 選定理由（議事要旨）

ア 基本的なコンセプトを改めて整理し、施設の意義・位置付けを再認識した上で、運営に活かしている点が評価できる。

イ 地域の産業・文化及び行事を活かした施設運営、地域・関係機関と連携した情報発信及びイベント、地域の人材活用等、地域振興・地域連携が計画されている。

ウ 関東ふれあいの道の踏破証発行、観光客や国立公園利用者に向けた情報提供、外国人利用者への対応、物販サービスを通じた地域振興への貢献等、総合的なサービス向上が期待できる。

③ 候補者の得点状況

審査項目	配点	候補者の得点状況
(1)管理運営実績の程度	25	18
(2)業務に関する知識・経験の水準の程度	75	54
(3)施設の効用の発揮と効率的な管理運営への取組	175	71
(4)法令等を遵守した適切な管理運営に係る取組	75	46
(5)利用者サービスの向上に係る取組	125	75
(6)災害時及び緊急時の体制整備に係る取組	25	18
合計	500	282

④ 申請団体

一般社団法人青梅市観光協会

(5) 東京都小笠原ビジターセンター

① 指定管理者候補者の名称
公益財団法人東京都公園協会

② 選定理由（議事要旨）

- ア 長年の指定管理者としての実績を基に、来島者のみならず島民の利用も意識した出会いと交流の場づくりを目指した、安定感のある管理運営が期待できる。
- イ 小笠原の特性を踏まえた展示やガイドウォークの充実のほか、新たな提案として盛り込まれているグッズ販売は、島の自然や文化を広く知ってもらうためのガイドブック、思い出を持ち帰ることのできるオリジナルグッズ等により、利用者のニーズに応えるものとして期待できる。
- ウ 生き物見本園として、固有植物の実物を公園内で展示するなど、来島者が身近に小笠原の自然に触れ、興味を持つための、質の高いサービスの提供が計画されている。
- エ 施設補修、植生管理及び適正利用について適切な計画が提示されているとともに、GISの活用を含む保守履歴のデジタル化など新たな取組について評価できる。

③ 候補者の得点状況

審査項目	配点	候補者の得点状況	
		候補者	2位
(1)管理運営能力を有すること	150	127	98
(2)公園及び自然公園施設の魅力やサービスの向上が図られること	350	243	204
(3)効率的な管理運営	150	125	121
合計	650	495	423

※得点は東京都小笠原ビジターと都立大神山公園の総合点

④ 申請団体一覧（※番号は申請書類受付順）

- 1 公益財団法人東京都公園協会
- 2 小笠原グリーン 株式会社

● 各施設の様子

東京都立小峰公園



東京都高尾ビジターセンター



東京都御岳ビジターセンター



東京都御岳インフォメーションセンター



東京都小笠原ビジターセンター

